

バチルス・メガテリウム由来のネイティブジアフォラーゼ (NADPH)

Cat. No. NATE-1154

Lot. No. (See product label)

はじめに

概要 酵素学において、NADPHデヒドロゲナーゼ (EC 1.6.99.1) は、次の化学反応を触媒する酵素です: $\text{NADPH} + \text{H}^+ + \text{受容体} \rightleftharpoons \text{NADP}^+ + \text{還元された受容体}$ 。この酵素の3つの基質は NADPH、 H^+ 、および受容体であり、2つの生成物は NADP⁺ と還元された受容体です。この酵素は、酸化還元酵素のファミリーに属し、特に他の受容体とともに NADH または NADPH に作用するものです。

用途 還元型 NADP の酵素的測定に役立ちます。

別名 NADPH: 受容体酸化還元酵素; NADPH2 ジアフォラーゼ; NADPH ジアフォラーゼ; OYE; ジアフォラーゼ; ジヒドロニコチンアミドアデニンジヌクレオチドリリン酸脱水素酵素; NADPH-脱水素酵素; NADPH-ジアフォラーゼ; NADPH2-脱水素酵素; 古い黄色酵素; 還元型ニコチンアミドアデニンジヌクレオチドリリン酸脱水素酵素; TPNH 脱水素酵素; TPNH-ジアフォラーゼ; トリホスホピリジンジアフォラーゼ; トリホスホピリジンヌクレオチドジアフォラーゼ; NADPH2 脱水素酵素; NADPH: (受容体) 酸化還元酵素; NADPH 脱水素酵素; EC 1.6.99.1

製品情報

由来 バチルス・メガテリウム

外形 黄褐色の非晶質粉末、凍結乾燥された

形態 フリーズドライパウダー

EC番号 EC 1.6.99.1

CAS登録番号 9001-68-7

分子量 48 kDa (gel filtration)

活性 5 U/mg 固体以上

混入物 マイオキナーゼ < 0.50%

等電点 3

pH安定性 6.5–9.0

最適pH 7.0–9.0

熱安定性 60°C以下で安定

ミカエリス定数 NADPH $2.9 \times 10^{-4}\text{M}$

活性化因子 FMN、FAD

単位定義 1単位は、アッセイ手順で指定された条件下で、30°Cで1分間に1μmoleのNADPHをNADP⁺に酸化する酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法 少なくとも1年間-20°Cで